

令和7年7月17日
島根県立出雲高等学校
教諭 山根 宏樹
TEL:0853-21-0008
FAX:0853-22-7855
メール:izumokoko@pref.shimane.lg.jp

出雲高校SSH事業3年生各種課題研究発表会の実施について

この度、文部科学省が指定するSSH(スーパーサイエンスハイスクール)事業の成果を、地域の皆様に広く還元・提案し、本校生の学びをより一層深める活動を下記のとおり実施します。

内容は、3年生が昨年度から取り組んだ課題研究成果を、研究内容によって地域の中学生や島根大学教員の方々に分かりやすく紹介したり、地元行政の方々に政策提言したり、山陰地区の高校生が、学校や地域を越えて研究成果の発表を行ったりするもので、出雲市役所・島根大学・島根県立大学のご協力をいただいて実施します。

記

1 内容

① キッズ(中学生)のためのスーパーサイエンス

本校オープンスクールに参加した中学生を対象として課題研究の面白さを伝えるプレゼンを行う。

② 地域創生に向けた高校生からの提案

出雲市職員や出雲市長へ提案を行うとともに、意見交換・懇談会を行う。

③ 島根大学におけるグローバルセッション

島根大学教員へのプレゼンをオンラインで行うとともに、意見交換を行いながら国際社会と自らの関わりについて考える。

④ 山陰探究サミット

山陰地区の高校生が、探究学習の研究成果の発表を行う。

2 日時・場所

① 7月24日(木) 9:40~12:00 出雲高校内各会場

7月25日(金) 9:40~12:00 出雲高校内各会場

② 7月28日(月) 9:00~11:30 出雲市役所各会場

③ 7月28日(月) 10:00~14:00 島根大学松江キャンパス教養講義室棟1号館202教室

④ 7月28日(月) 11:00~16:00 平田文化会館各会場

※時間は生徒が発表を行う時間帯

3 その他

発表内容等詳細は別紙参照

4 問い合わせ先

島根県立出雲高等学校 教諭 山根 宏樹(TEL:0853-21-0008、FAX:0853-22-7855、
メール:yamane-hiroki2@edu.pref.shimane.jp)

① 令和7年度「キッズ（中学生）のためのスーパー・サイエンス」実施要項

1 取組概要

第2学年で行った課題研究の内容を、地域の中学生向けに展示・プレゼンテーションすることを通して、研究成果を地域・社会に還元する。また、第2学年で行った課題研究の内容を動画として蓄積することで、次学年以降の生徒たちへの研究活動の継承を図る。

2 日時 オープンスクールと同時進行

令和7年7月24日（木） 9：40～12：00
25日（金） 9：40～12：00

3 会場

○オープンスクールでの課題研究発表： 2号館 1～3階 9教室を使用
(学習室211、学習室212、2-5、学習室221、2-4、2-3、学習室231、1-4、1-5)

4 発表生徒 3年理数科、普通科理系・文系 計36班

(理数科6班、数理情報・生命食農8班、物質科学8班、生活科学7班、文系7班)

5 活動内容

班を発表日によって2つのグループに分け、オープンスクールで中学生に向けて発表する。Xグループ（7月24発表）、Yグループ（7月25日発表）
さらにそれぞれのグループを①、②に細分し会場を別にして点呼や準備を行う。

| 日 | 時間 | X グループ①② | Y グループ①② |
|--------------|-------------|-----------------------|---------------------------------------|
| 7月24日 (木) | 9：00～9：10 | 点呼 本日の内容確認 発表準備 | 活動なし |
| | 9：10～9：35 | 各会場に移動し、発表準備 | |
| | 9：40～10：30 | 発表（中学生4A向け） | |
| | 10：40～11：30 | 発表（中学生4B向け） | |
| 25日 (金) | 11：30～12：00 | 振り返りシートの記入 | |
| | 9：00～9：10 | 活動なし | 点呼 本日の内容確認 発表準備 各会場に移動し、発表準備 |
| | 9：10～9：35 | | |
| | 9：40～10：30 | 発表（中学生5A向け） | |
| | 10：40～11：30 | 発表（中学生5B向け） | |
| | 11：30～12：00 | 振り返りシートの記入 | |

6 オープンスクールにおける課題研究発表の方法

- ① 各教室に2つの班を配置する（1つの班の教室もある）。
 - ② ポスター発表を行う（発表5分+質疑応答1分、計6分程度を想定）。
 - ③ 中学生が聴講する教室は指定（自由選択ではない）。本校教員・生徒が誘導する。
 - ④ 中学生は各教室で15分の間に2つの発表を聴講した後、次の発表教室へ移動する。
(6分程度で1つの班の発表を聴講した後、同じ教室の他班の発表を聴講する)
- ※ 発表の区切りは放送によって周知する

② 令和6年度「地域創生に向けた高校生からの提案」実施要項

1 取組概要

第2学年で行った課題研究についてその研究成果を地域創生に向けた出雲市への提案としてまとめ、出雲市役所職員の方へのプレゼンテーションやディスカッションを通して地域社会に還元する。

2 日時

令和7年 7月28日（月） 8：30～12：00

3 会場

出雲市役所 庁議室、602会議室

4 発表区分

| カテゴリー | 班 | 人数 | 研究テーマ | 担当課 |
|--------------------|-----|----|--------------------------------|----------------|
| I (20人) 庁議室 | 地5B | 5 | 出雲駅伝を発展させるために | 文化スポーツ課 |
| | 環5A | 5 | 五右衛門川の現状から考える私たちにできる環境対策 | 環境政策課 |
| | 地7C | 5 | 神西湖のしじみの漁獲量を復調させるにはどうすればよいだろうか | 環境政策課 水産振興課 |
| | 地7A | 5 | 多伎いちじくを全国に発信するにはどうしたらよいのか？ | 農業振興課 |
| II (15人) 602会議室 | 地7B | 5 | 出雲大社のオーバーツーリズム対策 | 観光課 |
| | 多6B | 5 | 出雲弁の語尾を後世に残していくためには | 文化財課 |
| | 環7A | 5 | 出雲市の街路樹と共に存していくには | 都市計画課 |

5 活動詳細

| 時間 | 活動内容 |
|-------|---|
| 9:00 | ○出雲市役所集合（集合場所：出雲市役所庁舎東側広場） ○東口より入り各会場へ移動、点呼（各担当教員） ○各会場に分かれる ※会場ですぐに機材等の準備。 <カテゴリーI> 庁議室 <カテゴリーII> 602会議室 |
| 9:30 | ○出雲市への提案（プレゼンテーション・ディスカッション）① ・発表担当グループのプレゼンテーション 10分程度 ・市担当職員からの政策説明・プレゼンに対する講評 5分程度 ・ディスカッション 5分程度 計約20分 |
| 9:50 | 休憩・発表準備 |
| 10:00 | ○出雲市への提案（プレゼンテーション・ディスカッション）② ※同じ流れ |
| 10:20 | 休憩・発表準備 |
| 10:30 | ○出雲市への提案（プレゼンテーション・ディスカッション）③ ※同じ流れ |
| 10:50 | 休憩・発表準備 ※カテゴリーIIはふりかえり学習を開始 |
| 11:00 | ○出雲市への提案（プレゼンテーション・ディスカッション）④ ※同じ流れ |
| 11:20 | 【発表会場にてふりかえり学習】※発表が全て終了後すぐに始める。時間は前倒し。 ① 各グループで講評やディスカッションの記録をまとめた資料を作成する。 ② 各自でふりかえりシートを記入する。 |
| 12:00 | 市役所にて解散 ※ふりかえり学習終了後会場ごとに解散。時間が前倒しになる会場もある。 |

③ 令和7年度「島根大学におけるグローバルセッション」実施要項

1 目的

第2学年で行った課題研究内容を振り返り、その成果を島根大学に在籍する留学生等に英語で発表し、意見交換することを通して、将来、グローバル・リーダーとしての生きるための行動力を養う。

2 日程・場所

7月28日（月）10:00～12:20・島根大学松江キャンパス

3 対象生徒

出雲高校第3学年普通科文系生徒7班（34名）

※チーム・グループ編成（予定）及び発表タイトル

| チーム | 班名 | 人数 | 発表タイトル |
|-----------|-----|----|--------------------------------|
| A班 19名 | 環6B | 5 | 「授業中寝ないようにするためにには」 |
| | 多5C | 5 | 「国民的アニメはなぜ長く続いているのか」 |
| | 多5D | 4 | 「日本人は本当に消極的なのか～より良い異文化交流を考える～」 |
| | 多6A | 5 | 「メイクの歴史と美の基準の関連性」 |
| B班 15名 | 多7C | 5 | 「睡眠時間が短いと思考力や集中力は低下するのか」 |
| | 地5A | 5 | 「島根県の特産物を県民に買ってもらうためには」 |
| | 地6A | 5 | 「出雲市の大消費を促進させるには」 |

4 活動概要

8:20 集合（出雲高校坂下駐車場）

8:30 出雲高校出発（貸し切りバス）

9:30 島根大学 到着

9:50 片岡副学長（グローバル化推進担当）挨拶 他、諸連絡

10:00 出雲高校生徒による課題研究成果発表 2会場に分かれて実施

グループ発表5～8分+質疑応答、意見交換7分

第1会場

準備

10:15 発表①

発表⑤

10:30 発表②

発表⑥

10:45 発表③

発表⑦

11:00 休憩

11:10 島根大学教員によるミニ講義（20分×2名）

11:50 島根大学生による留学体験発表（20分×1名）

12:10 Carmella Lieske（カーメラ・リスキー）教授による講評

12:20 振り返り（出雲高校の引率教員による）

12:30 昼休憩（教室での飲食可、また学生食堂の利用可能）

13:30 島根大学 出発

14:30 出雲高校 到着

④ 令和7年度「山陰探究サミット」の実施要項

1 目的

探究学習を推進している山陰地区の高校生が、学校や地域を越えて研究成果の発表を行うことを通して、相互に研究内容を共有し、学びを深めるとともに、研究成果を広く普及・還元する。

2 日時・場所

令和7年7月28日（月）11：00～15：40・平田文化会館

3 参加校（参加人数）

島根県立松江南高等学校（3）、島根県立松江東高等学校（2）、島根県立出雲高等学校（38）、島根県立益田高等学校（10）、鳥取県立鳥取西高等学校（2）、鳥取県立米子東高等学校（7）、広島県立大崎海星高等学校（2）

4 出雲高校参加班

出雲高校理数科・普通科3年38名（8班）

○発表班と研究テーマ

- | | |
|------|-----------------------------|
| 生物① | 「久徴園の植物を使ってカメムシを撃退する」 |
| 地学 | 「日御碕における柱状節理の成立条件」 |
| 環6A | 「若者を増やして地元の農林漁業を活性化させるためには」 |
| 環7B | 「山高生を側溝の臭いから救えるのか」 |
| 数4A | 「完全数の性質と規則性」 |
| 生命4C | 「ヤマトシジミとクロレラによる二段階浄化」 |
| 多5A | 「五感は購買意欲に影響を与えるのだろうか」 |
| 多7B | 「竹島問題の国際裁判が実現したらどうなるか」 |

5 来賓

- | | | |
|----------|--------|--------------------------|
| ○浜田キャンパス | 濱田 泰弘 | 国際関係学部 国際関係学科 国際関係コース 教授 |
| | 美濃地 裕子 | 学長補佐(高大連携) |
| ○出雲キャンパス | 加納 尚之 | 看護栄養学部 看護学科 教授 |
| | 板持 智之 | 看護栄養学部 看護学科 助教 |
| | 中川 忠彦 | 看護栄養学部 健康栄養学科 准教授 |
| ○松江キャンパス | 中野 洋平 | 人間文化学部 地域文化学科 准教授 |
| | 小林 美沙子 | 短期大学部 保育学科 准教授 |
| | 山根 繁樹 | 短期大学部 文化情報学科 教授 |

6 発表当日の日程

| | | |
|---------|---|--------------------------------|
| 8 : 30 | ～ | 出雲高校集合・バス出発 (出雲高校生徒) |
| 9 : 00 | ～ | 9 : 30 会場到着・会場準備 (同上) |
| 9 : 30 | ～ | 10 : 30 振り返り |
| 10 : 30 | ～ | 10 : 50 参加校の生徒受付開始 |
| 11 : 00 | ～ | 11 : 10 開会行事 |
| 11 : 20 | ～ | 12 : 10 分科会での発表 |
| 12 : 10 | ～ | 13 : 00 休憩 |
| 13 : 00 | ～ | 14 : 00 分科会での発表 |
| 14 : 00 | ～ | 14 : 15 休憩 (審査員による協議) |
| 14 : 15 | ～ | 14 : 30 分科会での講評・結果発表 |
| 14 : 30 | ～ | 14 : 40 第1会場へ移動 |
| 14 : 40 | ～ | 15 : 30 全体会での発表 (各会場の優秀班が全体発表) |
| 15 : 30 | ～ | 15 : 40 全体講評 |
| 15 : 40 | ～ | 解散 (出雲高校生徒が会場の片付けをする) |
| 16 : 00 | ～ | 出雲高校の生徒 バス乗車 出発 |
| 16 : 30 | | 出雲高校到着 解散 (出雲高校生徒) |

7 発表形式

- (1) 4会場に分散し、分科会形式で行う。
- (2) 1班約12分 (発表8分+質疑応答3分+準備、片付け1分)
- (3) 各校の発表班 (発表者) が視聴覚機器 (パワーポイント等) を利用した口頭発表を行い、聴講者は 各発表に対し質疑応答をする。
- (4) 聴講者は各班の発表に対して一コメを記入し (受付の際に付箋を配付) 、休憩時間などを利用して発表班 (発表者) の模造紙に貼る。
(※付箋は出雲高校で準備)
- (5) 各会場で優秀班を1班選定し (審査員は上記4を参照) 、該当班は第1会場で全体発表をする。